

「担降り」のロジック

——ジャニーズファンの応援行動とその転向をめぐる人類学的研究——

社会学部現代社会学科 1922071

指導教員 川瀬 由高

氏名 長峰 あすか

要旨

ジャニーズファンとは日本のジャニーズ事務所に所属するアイドルのファンのことで、一部のファンによる熱狂的な応援行動がその特徴となっている。私自身もジャニーズファンとして応援行動に注力していたのだが、その過程では「担降り」、つまり別のアイドルを応援するようになることを経験したことがある。ジャニーズファンの友人らも同様に「担降り」の経験があったため、いかなる理由でファンたちは「担降り」を選択するか、その選択は応援行動や私生活にどのような影響や変化をもたらすのか興味を持った。

本研究では以上の問題意識のもと、ジャニーズファンたちの応援行動とその転向の論理を明らかにすることを目的に、「担降り」を経験したジャニーズファンへのインタビュー調査を行った。さらに、中国のアイドルファンと芸能界規制強化の事例の検討から、ファンの応援行動の比較と、ファンを辞める際のロジックを解明することを試みた。

第1章では、本研究の目的と方法、本論文の構成について述べた。

第2章では、アイドルファンの応援行動についての概要を述べている。ファンにとっての「応援」と「推し」の意味合い、ジャニーズファンの応援行動の特徴、「担降り」の語義について確認した。

第3章では、「担降り」の経験の語りとして、「担降り」した経験を有する3人のインタビュー調査の結果を記述した。具体的な語りの検討を通して、「担降り」の経験の共通点と異同について検討した。

第4章では、中国語圏のアイドルファンとジャニーズファンに関する先行研究を基に、調査事例について考察を加えた。1節から2節にかけては中国語圏のアイドルファンの行動と芸能界規制の事例を取りあげ、その応援行動の特徴を確認した。3節ではジャニーズファンに関する文化人類学の先行研究をもとに、ジャニーズファン特有の嗜好と「担降り」との関わりについて検討した。4節では日本と中国のアイドルファンの応援行動の比較から、ファンの集団性には差異が見られることを指摘した。5節では以上を総括し、ファンたちが「担降り」を選択するに至るロジックについて外的・内的要因から考察した。

結論として、アイドルファンの応援行動とはファンのコミュニティに加入し、アイドルの音楽映像やグッズなどを購入、共有することであり、これは日本と中国のアイドルファンにも共通してみられる特徴であることが分かった。そして、ファンたちが「担降り」を選択する過程においては、規制をかけられた、「担当」が物理的に遠くなったなどの外的要因よりも、より好きになった「担当」の登場や私生活を優先するなどの内的要因が、ファンの転向を促す主な要因になっていることが明らかになった。